



スズキ、パキスタンで新型「エブライ」を発表

-軽商用車「エブライ」と同じボディサイズ・エンジン排気量を採用-



エブライ（用品装着車）

スズキ株式会社のパキスタンの子会社、パックスズキモーター社（以下パックスズキ）は、10月12日に新型「エブライ」を発表しました。11月上旬より販売を開始します。

新型「エブライ」は、パキスタンで長年ご愛用いただき、仕事でもファミリーカーとしても活躍するワンボックスタイプのコンパクトバン「ボラン」の後継となる新型バンです。日本で販売している軽商用車「エブライ」と同じボディサイズ、エンジン排気量を採用しました。日常の使い勝手の良さや広い室内空間、高い積載能力はそのままに、配達などの業務のほか、レジャーや日々の通勤通学にも使用できるマルチユースなコンパクトバンを現地のニーズに合わせたパッケージングで提供します。パックスズキが、現在の日本の軽自動車と同じボディサイズ、エンジン排気量を採用したモデルを生産、販売するのは、2019年6月に販売を開始しご好評いただいている「アルト」に続いて2車種目となります。

パックスズキは、1982年の生産開始以来、日本の軽自動車をベースとしたモデルを中心に、信頼性が高くお求めやすい価格のコンパクトカーを提供してまいりました。パックスズキの2023年度のパキスタン国内販売台数は42,986台、シェアは45%です。スズキは、これからも「生活を支えるモビリティ企業」として、地域社会に貢献する企業を目指してまいります。

● 新型「エブライ」の主要諸元

- ・ 全長×全幅×全高： 3,395 mm × 1,475 mm × 1,895 mm
- ・ エンジン： R06A型（660cc）
- ・ トランスミッション： 5MT

● パックスズキモーター社概要

- ・ 設立： 1982年6月
- ・ 生産開始： 1982年9月
- ・ 所在地： カラチ
- ・ 資本金： 8億2,300万ルピー
- ・ 従業員数： 約1,500名
- ・ 四輪生産車種： エブリイ、スイフト、アルト、カルタス、ワゴンR、ラビ
- ・ 生産実績：

2023年度	46,304台
累計	約254万台
- ・ 販売実績：

2023年度	42,986台
累計	約255万台

以上